

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和6年 5月27日

宮崎市長

殿



提出者

住 所 宮崎市清武町木原58番地13

氏 名 株式会社 SHIN-SEI 岸本 正興

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0985-85-3700

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 SHIN-SEI
事業場の所在地	宮崎市清武町木原58番地13
計画期間	令和6年4月1日 より 令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	電気機械器具製造業
②事業の規模	令和5年度 製造品出荷額4億2109万円
③従業員数	29人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	・ 汚泥→中間処理委託(焼却)→再資源化(セメント原料) ・ 廃油→中間処理委託(焼却)→再資源化(セメント原料) ・ 廃アルカリ→中間処理委託(中和) ・ 廃プラスチック類→中間処理委託(破碎)→再資源化(RPF原料) ・ ガラス屑→中間処理委託(破碎)→最終処分委託(埋立) ・ 木くず→中間処理委託(破碎)→再資源化(木チップ)

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

統括責任者 (工場長)

環境管理委員会
各部課長・班長生産部
総務部各課廃棄物
担当者
(班長)廃棄物管理及び
処理担当者
(設備環境課長)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度 (令和 5年度) 実績】※別紙の通り

産業廃棄物の種類

排 出 量

(これまでに実施した取組)

- ・ 廃アルカリは、洗浄機のオーバーフロー水を再利用した。
- ・ 発泡スチロールおよび塩ビ配管は別に分別し、再生品の原料として再資源化を図った。

②計画

【目標】※別紙の通り

産業廃棄物の種類

排 出 量

(今後実施する予定の取組)

- ・ 現場への梱包材搬入を抑制する。
- ・ 分別の徹底を行う。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

種類：廃プラスチック類、ガラス屑・コンクリート屑及び陶磁器屑、
木屑、紙屑、塩ビ配管、発泡スチロール、金属屑、紙屑

取組：品目毎のボックスを設置

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

種類：前年同様

取組：前年同様

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】※別紙の通り		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	_____	_____
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	_____	_____
	(これまでに実施した取組) 濾過装置の脱水により減量を行った。		
②計画	【目標】※別紙の通り		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	_____	_____
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	_____	_____
	(今後実施する予定の取組) 前年同様脱水による減量を行う。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】※別紙の通り		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	全 処 理 委 託 量	_____	_____
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	_____	_____
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	_____	_____
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	_____	_____
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	_____	_____
	(これまでに実施した取組)		
	中間処理後、再資源化を行う業者へ委託した。 ・ 汚泥、廃油 → セメント原料（燃料系、原料系） ・ 廃プラスチック類 → 固形燃料、再生プラスチック原料 ・ 塩ビ配管 → 再生塩ビ原料 ・ 発泡スチロール → 再生発泡スチロール原料		

②計画	【目標】※別紙の通り		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量		
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		
	再生利用業者への 処 理 委 託 量		
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		
	(今後実施する予定の取組) 前年と同様の委託処理を行う。		
※事務処理欄			

産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)処理計画書 集計表

(別紙)

単位:t

産業廃棄物の種類		汚泥	廃油	廃アルカリ	廃プラ	ガラス	木くず					合計	
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項													
①現状(令和5年度実績)	排出量	4,184	29	2,656	18	0	3					6,890	
	②計画(令和6年度目標)	2,250	25	3,200	15	0	2					5,492	
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項													
①現状(令和5年度実績)	自ら再生利用を行った量	0	0	0	0	0	0					0	
	②計画(令和6年度目標)	0	0	0	0	0	0					0	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項													
①現状(令和5年度実績)	自ら熱回収を行った量	0	0	0	0	0	0					0	
	自ら中間処理により減量した量	4,156	0	0	0	0	0					4,156	
②計画(令和6年度目標)	自ら熱回収を行う量	0	0	0	0	0	0					0	
	自ら中間処理により減量する量	2,235	0	0	0	0	0					2,235	
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投棄処分に関する事項													
①現状(令和5年度実績)	自ら埋立処分を行った量	0	0	0	0	0	0					0	
	②計画(令和6年度目標)	0	0	0	0	0	0					0	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項													
①現状(令和5年度実績)	全処理委託量	28	29	2,656	18	0	3					2,734	
	内訳	優良認定処理業者へ処理を委託した量	28	29	0	0	0	0					57
		再生処理業者へ処理を委託した量	28	29	2,656	18	0	3					2,734
		認定熱回収業者へ処理を委託した量	0	0	0	0	0	0					0
		認定以外の熱回収業者へ処理を委託した量	0	0	0	0	0	0					0
②計画(令和6年度目標)	全処理委託量	15	25	3,200	15	0	2					3,257	
	内訳	優良認定処理業者へ処理を委託する量	15	25	0	0	0	0					40
		再生利用業者へ委託を委託する量	15	25	3,200	15	0	2					3,257
		認定熱回収業者へ処理を委託する量	0	0	0	0	0	0					0
		認定以外の熱回収業者へ処理を委託する量	0	0	0	0	0	0					0